

# Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 14 日(土)

試合時間：10：00～

CC：和田 敏文

U1：萩尾 繁治

U2：副島 亜紀子

福岡教育大学	● 78	26	—1st—	19	○ 80	東海大学九州
		17	—2nd—	17		
		21	—3rd—	20		
		14	—4th—	24		

## 第1クォーター

東海大#28 脇山がファウルをもらいフリースローを両方きめて試合が始まる。序盤、お互いシュートが入らない中で福教大#10 山下のスティールからレイアップを決める。中盤、両チームシュートが入らない状況が続く試合は均衡する。残り3：35、流れを断ちたい福教大はタイムアウトを請求。終盤、福教大#9 竹内の3Pシュート等でリードをして、26-19と福教大リードで第1クォーターを終える。

## 第2クォーター

立ち上がり、東海大#28 脇山の3Pシュートから始まる。続けて#5 荒牧がシュートを沈め、福教大に食らいつく。対する福教大は#15 藤本の3Pシュートで東海大に流れを渡さない。中盤、流れを変えたい東海大は、残り5：27、タイムアウトを請求する。しかし、東海大は福教大の粘り強いディフェンスに阻まれ、シュートがなかなか決まらない。第2クォーター終盤まで追いつくことは出来ず、43-36と福教大リードのまま前半を折り返す。

## 第3クォーター

後半、東海大学は動きながら果敢に攻めるもゴールに嫌われる。一方、福教大は#10 山下のドライブやリバウンドからシュートで得点を重ねる。中盤、東海大は#18 松岡のドライブで相手のミスを誘いフリースローを獲得。徐々に福教大を追い上げる。しかし、負けじと福教大も#9 竹内が3Pシュートを連続で沈める。終盤、東海大は#5 荒牧の連続得点で流れを引き寄せ、福教大は東海大の厳しいディフェンスに、得点が中々取れないが、福教大がリードを保ち64-56で第3クォーターを終える。

## 第4クォーター

最終クォーター、東海大#3 寺井のシュートで一気に差が縮まる。続けて#5 荒牧の得点が決まり3点差になる。堪らず福教大は、残り7：09、タイムアウトを請求。その後、東海大は同点の3Pシュートを狙うが入らず。福教大もミスがある中で#10 山下がフリースローを決め4点差。東海大#0 岩崎が3Pシュートを決めて遂に1点差になる。しかし、福教大も#10 山下がシュートを決め返して3点差と入れ合いが続く。東海大#0 岩崎が3Pシュートを決めて同点。東海大は攻め続け、着実に得点を重ねていく。決めきれない中で福教大#10 山下が決めて、2点差に縮まるが最後の同点シュートが惜しくも入らず、78-80で東海大がリーガーツ目の白星を獲得した。